

## 1月31日：銀行株が上昇に転じ相場を押し上げ

火曜日にベトナム株は上昇した。しかし、外国人投資家が売りに転じ上昇モメンタムは強くなかった。

ホーチミン取引所のVN指数は8.61ポイント（0.78%）高の1,111.18ポイントで取引を終え、前日の下落からわずかに回復した。月曜日は14.53ポイントほど下落していた。

サイゴンハノイ証券のアナリストは、ベトナム株は新年を上昇して開始したと述べた。

同社の分析によると、2023年は株式市場にとって明るい年になるだろう。本格的な上昇に入るために、下値を固めている段階で下落トレンドに入っていない。

投資のチャンスはどの投資家にもあり、下落した際は格好の機会となるだろうと同社は予想した。

火曜日も上昇した銘柄が多かった。ホーチミン市場では209銘柄が上昇し、122銘柄が下落した。流動性は堅調で、売買代金が13.6兆ドン（出来高にして7.84億株）だった。

ホーチミン市場のVN30指数も反発した。VN30指数は11.12ポイント（1%）高の1,125.07ポイントで取引を終えた。20銘柄が上昇し10銘柄が下落した。

指数の上昇は銀行株と製造業の銘柄の上昇によってもたらされた。ベトコムバンク（VCB）は2.22%高となり指数の上昇に大きく寄与した。

その他、ベティンバンク（CTG）、BIDV（BID）、サコムバンク（STB）、アジアコマーシャル銀行（ACB）なども2.5%以上の上昇となった。

ホアファットグループ（HPG）、ベトナムラバーグループ（GVR）といった銘柄の上昇も上昇トレンドに寄与した。

一方、ビナミルク（VNM）、ビンホームズ（VHM）、ビンコムリテール（VRE）といった大型株の下落が相場の重しとなった。

ハノイ取引所のHNX指数は1.65ポイント（0.75%）高の222.43ポイントで取引を終えた。

出来高は 8,824 万株、売買代金にして 1.3 兆ドンだった。

外国人投資家は売りに転じ、ホーチミン市場では 1,190 億ドンを売り越した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。